

琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

ひとが輝き まちが輝く

コトウライフの創生



いきいき定住！

コトウライフ

KOTOURA LIFE

琴浦町人口減対策ロゴマーク

平成27年9月

鳥取県琴浦町

・・・目次・・・

1. 基本方針 **1**

2. 総合戦略の位置づけ **2**

- (1) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係
- (2) 基本的な視点
- (3) 総合戦略の策定経過…………… 3
- (4) 計画期間
- (5) 総合戦略の位置づけ
- (6) 基本目標の設定と施策の推進・検証
- (7) 総合戦略のフォローアップ…………… 4

3. 総合戦略の基本テーマ **5**

- 基本テーマ1 コトウラで育む
- 基本テーマ2 コトウラで創る
- 基本テーマ3 コトウラで輝く…………… 6
- 基本テーマ4 コトウラに根づく

4. テーマごとの基本目標と具体的施策 **8**

■テーマごとの基本目標

- 基本テーマ1 コトウラで育む…………… 9
- 基本テーマ2 コトウラで創る…………… 13
- 基本テーマ3 コトウラで輝く…………… 16
- 基本テーマ4 コトウラに根づく…………… 20

1. 基本方針

本町は、豊かな自然環境や歴史・文化が根づく、やすらぎにあふれた町です。主要産業である農林水産業では、酪農・畜産をはじめ、数多くの農産物が県下でも有数の生産量を誇っています。また、商工業も県下町村ではトップクラスの生産高・出荷高を誇っており、農商工併進のまちです。住民同士のつながりや人と人の絆の強さを生かし、NPOや地域活動団体が数多く活動し、地域の元気づくりと内外へ魅力を発信しています。保育料の軽減をはじめとして様々な施策により子育てしやすい町を進め、特色ある教育により、ふるさとを愛し、ふるさとを支える「琴浦っ子」の育成に力を注いでいます。介護予防では先進的取り組みを展開し、ウォーキングやポイントラリーなどを取り入れた健康づくりを進めています。山陰道の開通により交通アクセスが向上し、災害被害の少ない地域であることなど、暮らしやすい町としての魅力が高まっています。

反面、若者の県外への流出や出生率の低迷により、町全体で人口減少が進んでいます。農業では後継者不足や遊休・荒廃農地が増加し、その他の産業においても経済基盤の縮小が課題です。中山間地などでは過疎・高齢化により、地域づくりの担い手や推進役の減少に歯止めがかからず、地域の次代を担うリーダー人材の不足や集落規模の縮小により、単独で集落機能を維持するのが困難な地域も現れています。

これらの課題に取り組むため、本町では平成26年2月に琴浦町人口減少対策総合施策（コトウライフ）を策定し、取り組みを行ってきました。地方創生に向けては、これらの施策を受け継ぎ、人口減少に歯止めをかけるとともに、人口減少社会でも持続的で活力ある地域をつくる対策の両軸で取り組んでいきます。琴浦町ならではの特徴・特色をふまえ、「弱み」を見極め「強み」を伸ばしていくことにより、地方創生における琴浦町らしさの具体化を進めます。

琴浦町総合戦略では、多くの町民の皆様のご意見を集約し、人口ビジョンで示した目標人口を達成するよう、次世代の琴浦町を担う「ひとづくり」を中心に、誰もが地域社会で活躍できる「しごとづくり」、賑わいがあり安心して暮らせる「まちづくり」をすすめ、住民満足度の高いまちを目指します。

町民一人一人の「ひと」の活力が、「まち」全体の元気と希望につながるという理念のもと、町の将来像を以下のとおりとします。

琴浦町の将来像

ひとが輝き まちが輝く コトウライフの創生

2. 総合戦略の位置づけ

(1) 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係

国が策定した総合戦略の4つの基本目標と政策5原則等をふまえ、本町の特性を生かした「人口減少問題の克服」と「成長力の確保」を、将来にわたって目指します。

(2) 基本的な視点

琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、国で施行された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、また「琴浦町人口ビジョン」をふまえ、本町の人口減対策及び地域の元気づくりに向けた基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

総合戦略の策定にあたっては、地方創生として新たな施策を盛り込む一方で、いま琴浦町で暮らしている町民の皆様へも目を向けた取り組みも重要であると認識し、琴浦町が掲げる将来像「ひとが輝き まちが輝く コトウライフの創生」に向けて、次の3つの視点で一体的に取り組めます。

① まちづくり

「まち」の活性化のためには、地域コミュニティの強化と、住民による主体的なまちづくりへの取り組みが重要となります。地域を元気にしようという志と行動が、まちの活力向上につながっていきます。また、だれもが住み慣れた地域で安心・安全に暮らすために、公共交通や地域拠点の整備、地域防災力の強化を進めるとともに、様々な分野で官民協働や地域間連携を図り、「地域の総合力」が最大限発揮されるまちづくりを進めます。

② ひとづくり

人口減少社会が進む中で、将来にわたってまちの活力を維持するのは、「ひと」の力です。町民一人ひとりがまちを愛し、ふるさとに誇りを持ち、健康で生き生きと暮らすことで、地域に活力を生みます。そして、その姿を見て育った子どもたちは、小さい頃から地域のよさを認識し、まちを支える担い手として育っていくものと考えます。高齢者から若い世代へ、そして生まれくる子どもたちへ、世代を繋いでまちの活力を維持していくために、「ひと」が元気なまちづくりを進めます。

③ しごとづくり

まちの基幹産業である一次産業に活力を与えるとともに、地元産業の更なる発展と活性化を図ります。企業収益の改善が賃金上昇や雇用拡大につながり、消費の拡大等を通じて更なる収益拡大に結び付くという経済の好循環の実現を目指します。

希望や夢を持って起業する若者への支援や、地域の強みを生かした新たな「しごと」の創出を図り、町民が意欲を持って働き、自らが地域経済の一端を担っているという自覚と誇りを持つようなしごとづくりを進めます。

(3) 総合戦略の策定経過

町長を本部長とする「琴浦町地方創生推進本部」及び産官学労金言など各種団体の代表で構成する「琴浦町地方創生推進会議」において検討を行うとともに、各地域での意見交換会や町民を対象としたアンケートの実施及びパブリックコメントでの意見をふまえ、町の課題整理や基本目標を設定し、施策の推進を図ります。

(4) 計画期間

琴浦町人口ビジョンにおける人口の将来展望をふまえ、2015年度（平成27年度）から2019年度（平成31年度）までの5年間とします。

(5) 総合戦略の位置づけ

この総合戦略は、琴浦町の目指す姿を町民の皆様と共有し、地方創生を実現する取り組みを共に進めるための指針となるものです。

これらの取り組みは、平成19年3月に策定した「第一次琴浦町総合計画」等の各種計画との整合性を保ちながら、地元の産業界や教育機関、金融機関や各種団体、そして町民の方々と共に創り上げ、お互いに役割を分担して進めていきます。

(6) 基本目標の設定と施策の推進・検証

国の総合戦略が示す政策4分野ごとの基本目標（※1）をふまえ、本町における5年後の基本目標を定めます。この基本目標は、事業そのものの結果（アウトプット）ではなく、その結果として町民にもたらされた便益（アウトカム）に係る数値目標とし、この基本目標の実現に向けた基本的方向と具体的な施策を記載し、施策の効果を客観的に検証できる指標（重要業績評価指数：KPI（Key Performance Indicator））を定めます。

また、町長を本部長とする「琴浦町地方創生推進本部」において、施策の実行的推進を図るとともに、「琴浦町地方創生推進会議」等で定期的に取り組み内容を検証し、改善する仕組み（PDCA サイクル※2）を確立します。

※1 国の基本目標

- ① 地方における安定した雇用を創出する。
- ② 地方への新しい人の流れをつくる。
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

※2 PDCA サイクル

- ① Plan：数値目標・客観的な指標を設定した効果的な地方版総合戦略を策定する。
- ② Do：地方版総合戦略に基づく施策を実施する。
- ③ Check：数値目標や客観的な指標の達成度を通じて、地方版総合戦略の成果を客観的に検証する。
- ④ Action：検証結果をふまえて施策を見直すとともに、必要に応じて地方版総合戦略を改訂する。

（7）総合戦略のフォローアップ

本町は、琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、「まち・ひと・しごと創生」に早期に着手します。

今後は、鳥取県の総合戦略等との整合を図りながら、広域的な連携を進めるとともに、国が平成27年度から提供する「地域経済分析システム（RESAS）」による詳細な経済分析や平成27年度に実施する国勢調査の結果、さらには、今後引き続き実施する本町の現状分析・各種意向調査等の結果、及び社会情勢や町民のニーズをふまえ、随時必要な見直しを行います。

また、施策の推進にあたっては、地方創生先行型交付金等の国の財政支援制度や鳥取県版地方創生コンシェルジュ制度などの人的支援制度など、国や県の支援制度を積極的に活用していきます。

3. 総合戦略の基本テーマ

国の総合戦略並びに琴浦町人口ビジョン、さらには平成26年2月に策定した琴浦町人口減対策総合施策（コトウライフ）をふまえ、本町の特性を生かし、次の4つを基本テーマとして施策を進めます。



基本テーマ1 コトウラで育む

～地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり～

未来の琴浦町を担っていくのは、子どもたち「琴浦っ子」です。

本町では、独身者の増加や晩婚化の進行、また結婚しても教育費など経済的な不安により希望する子どもの数を実現できないなどの理由から、出生率が低迷しています。結婚・出産・子育てを望む人が、安心してその希望を叶えることのできる仕組みづくりを進めます。

また、ワーク・ライフ・バランスの推進や働きやすい職場づくりなど仕事と育児の両立支援や、まち全体で子育てを応援する社会環境を整備します。

そして、子どもたちに地域のよさを伝え、豊かな自然の中で様々な経験を積むことにより、ふるさとに愛着と誇りを持ち、活力に満ちた人材を育てる取り組みを進めます。

基本テーマ2 コトウラで創る

～安定した就労環境の整備と、魅力あるしごとづくり～

琴浦町における人口減少は、出生率の低下に加え、転出超過による社会減少が主な要因となっています。地域に希望する職場がなく、しごとを求めて県外へ転出したり、進学で転出したまま都会で就職したりすることで若者の流出が進み、若い世代の地域への定着が難しい状況です。また、人口減少により、産業の担い手不足や、消費者減少による地域経済の衰退も懸念されます。

若い世代が定着するためには、安定したしごとを持ち、経済的に自立し、希望を持って社会で活躍できる環境が必要です。そのために、魅力あるしごとの創出や起業・創業支援に取り組めます。

豊かな自然の恵みからなる一次産業では、経営者の高齢化や後継者不足への対策が必要です。農業では、遊休農地の増加による自然への影響も懸念され、農産物のブランド化や頑張る農家への支援、遊休農地等を活用した新たな取り組みを進めていきます。また、地元産業の安定経営と発展、販路拡大等によるブラッシュアップを図ります。

一人ひとりが地域経済の一端を担っているという自覚と誇りを持ち、活力にあふれたしごとの創生を目指します。

基本テーマ3 コトウラで輝く

～ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり～

琴浦町には自然を生かした名所や、歴史・文化が息づく史跡など、多くの観光地があり、地域に根づく伝統芸能も数多くあります。

この魅力を町民自らが認識し、ふるさとを誇りに思う気持ちの醸成を進め、地域における伝統芸能の継承や協働によるまちづくりを進めていきます。その中で、住民の絆づくりと活力ある次世代の人材育成に取り組めます。

観光では、鳥取県中部エリアへの誘客を推進する広域観光組織（日本版DMO）を整備し、中部圏域の魅力を活かした周遊性のある取り組み、及びインバウンドへの取り組み等を支援することにより、鳥取県中部圏域への観光誘客を促進します。そして、交流人口の増加による地域経済の活性化を目指します。

また、女性が地域や社会でその能力を発揮して活躍することで、まちに活力を生みます。ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画の推進など、女性が輝く社会に向けての取り組みも進めます。

活力あるまちは、そこに住む「ひと」が築き上げるものであると考えます。住民一人ひとりが主体的にまちづくりに関わり、「ひと」が輝くことで「まち」全体が輝く、人口減少社会の中でも生き生きと暮らせるまちづくりを目指します。

基本テーマ4 コトウラに根づく

～だれもが健康で、心豊かに暮らせるまちづくり～

琴浦町では高齢化率が3割を超え、今後も少子高齢化の人口構造が続く見込みであり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせることが必要です。

介護予防・認知症予防に加え、元気な高齢者が地域社会で活躍する仕組みづくりが必要となります。そして、健康寿命の向上とともに、障がいのある方等を含め、あらゆる町民が健康で心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

若い世代の移住・定住を進めるために、空き家の活用や家賃助成など、I J Uターンへの支援を充実させます。暮らしやすいまちを発信し、幅広い世代の定住を目指します。そして、進学などで県外に出た若者が「暮らしたい」と思えるまちづくりに取り組みます。

町民一人ひとりが地域で安心して暮らし、地域に根つき、生き生きと輝いて過ごすことで、まち全体の活力向上につながります。そして、その背中を見て子どもたちが育つことで、ふるさとへの想いが育ち、次世代のまちを担う若者が育っていくものと考えます。

4. テーマごとの基本目標と具体的施策

総合戦略の目指す基本目標（数値目標）を設定し、地方創生の実現に向けて各施策を総合的に推進します。

■テーマごとの基本目標（平成27年度～平成31年度）

1 コトウラで育む	
縁結び・婚活 子育て支援 教育の充実 ふるさと愛の醸成	○事業実施による成婚数 15組 ○合計特殊出生率 1.71 ○25歳時点における町内定着率 80%
2 コトウラで創る	
農林水産業の振興 地元産業の発展 魅力あるしごと	○農林水産業関連への新規就農者 30人 ○新規起業者数 9件
3 コトウラで輝く	
観光と交流 女性が輝く 協働によるまちづくり ふるさとを支えるひとづくり	○観光入込数 927.8千人/年 ○地域課題解決のための活動数 150回/年
4 コトウラに根づく	
移住・定住支援 健康寿命日本一 安心・安全なまち 心豊かに暮らす	○社会移動による人口減少数 △200人 ○健康寿命の延伸 1.0歳

基本テーマ1 コトウラで育む

地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり

- 出会いや結婚・出産を希望する人を総合的に支援するとともに、安心して子育てできる環境を整え、出生率の向上を目指します。
- 保育制度の充実や職場の意識啓発・環境整備の推進等により、育児と仕事の両立支援を図り、まち全体で子育てを応援する地域社会の実現を目指します。
- 子どもの能力を育てる特色ある学校教育の充実と、ふるさとに誇りと愛着を持つ人材を育てるための「ふるさと塾」を推進し、未来を担う「琴浦っ子」を育成します。

重点項目（1） 出会いと結婚の希望をかなえる

1 縁結び・婚活事業の充実

結婚を希望する若い世代等を対象に、企業や広域連合との連携による男女の出会いの場の提供や、結婚に対する意識の向上を目的としたセミナー等を開催します。また、縁結びコーディネーターを活用した相談会や独身者のマッチング等を行います。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
事業による成婚者数	計 15組（3組／年）	—
セミナー及びイベント町内参加者数	計 150人	—

<具体的な事業>

- ・婚活カップリング事業
- ・縁結びコーディネーター活用事業

重点項目（2） 子どもを産み育てやすい町づくりの実現

1 子育て世代の経済的支援

子育て世代の負担を軽減するため、財政的支援及び子育て環境整備を行います。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
出生数	計 592人（H27～H31）	117人（H25）
第3子以降の出生数	計 135人（H27～H31）	27人（H26）
保育サービスへの満足度	70%	53%（H25）

<具体的な事業>

- ・高校生通学費助成事業
- ・医療費助成制度の拡充
- ・進学奨励金給付事業
- ・特定不妊治療費の助成
- ・妊婦・乳幼児健診の充実
- ・保育料の軽減（第3子以降保育料無料、第2子保育料を半額）
- ・第3子以降出産祝い金事業
- ・就職促進奨励金給付事業
- ・保育士研修等事業
- ・若年層に対する住宅家賃低廉化事業
- ・第3子以降出産祝金交付事業

2 楽しく子育て・親育て支援

産前・産後の母親へサポートとともに、子育てへの不安や負担感へ寄り添い、必要な支援を行うことでその軽減を図り、子育てを楽しめる社会の実現を図ります。

また、発達障がい等のある子どもへの支援を充実させます。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
乳児（0歳児）家庭保育者数の増	5世帯	—
育児にストレス・悩みを抱えていない保護者の割合	1歳6カ月児：50% 3カ月児：60%	1歳6カ月児：40.6%（H26） 3歳児：50.4%（H26）

<具体的な事業>

- ・すくすくことうらプロジェクト
- ・乳児（0歳児）家庭保育支援給付事業
- ・産後ヘルパー派遣事業
- ・母子保健事業
- ・子育て3世代同居住宅リフォーム助成事業

3 勤労世帯の子育て支援

育児と仕事の両立支援の取り組みを進めるとともに、育児休業制度の整備や子育てへの理解と意識向上など、企業等の協力を得ながら、働きながら子育てをしやすい社会の実現を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (H31)	基準値
育児中の働きやすさ	70%アップ	50% (H25)
育児休業取得向上事業	25 件	5 件 (H27)

<具体的な事業>

- ・放課後児童クラブ事業
- ・休日保育・病後児保育の実施
- ・ファミリーサポートセンター事業
- ・育児休業取得向上事業

重点目標（3） 子どもの能力を伸ばす教育環境の充実

1 安心して学べる学校環境の充実

琴浦独自の魅力と特色ある学校教育を進めるとともに、発達障がい等のある児童・生徒への支援を強化します。

また、いじめや不登校等に対する外部機関と連携した対応・支援により、安心して学べる学校環境を整備します。

重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (H31)	基準値
学力調査	合同学力テストで全国及び県平均以上	平成 27 年度実績値
脳活・スキルアップ学習の拡充	すべての小中学校で実施	
特別支援教育活動コーディネーターの配置	2 人	1 人

<具体的な事業>

- ・脳活・スキルアップ学習の拡充
- ・魅力、特色ある教育体制整備（ICT 機器の整備と利活用の推進）
- ・鳥取県中部子ども支援センターとの連携
- ・教育相談員やスクールカウンセラー等の設置
- ・発達障がい等への支援や通級教室の設置
- ・学校支援ボランティアの活用
- ・家庭教育支援推進事業

重点目標（４） ふるさとを愛する教育の充実

1 ふるさとへの誇りと愛着の醸成

自然や農林水産業への体験活動を通じて、子どもの頃からふるさとの素晴らしさを認識し、ふるさとへの関心と誇りを育てます。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
将来琴浦町に住みたいと感じる中学生の割合	90%	—
だいすきっず参加者数	計 600人／年	—

<具体的な事業>

- ・学校教育におけるふるさと学習（あいラブ琴浦）
- ・ことうらだいすきっず育成事業

2 文化・芸術・遊びを通じた子どもの心の育成

子どもの頃から文化や音楽などに触れる機会を提供するとともに、公園などの環境整備を行い、芸術や遊びを通じた心と体の育成を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
授業以外で芸術文化活動に触れた機会	1回／年	—
芸術体験事業	町内全小中学校での実施	町内全小学校で実施

<具体的な事業>

- ・芸術体験事業（青少年劇場、とっどりの芸術宅配便、舞台芸術体験事業等）
- ・カウベル音楽ようちえん
- ・遊びを通じたひとづくり事業
- ・子どもの遊び場環境整備事業
- ・土曜学習充実事業

基本テーマ2 コトウラで創る

安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり

- 安定的な所得が得られる就業の場や、若者が魅力を感じるしごとをつくりま
- 本町の主要産業である農林水産業の基盤強化や、担い手の確保・育成に取り組みま
- す。
- 琴浦ブランドの発信や地域産業の競争力を高め、更なる発展を支援します。

重点目標（1） 自然の恵みからなる農林水産業の振興

1 遊休農地の解消と担い手の育成

I J Uターンの新規就農者への支援や、農業後継者の確保・育成のための取り組みを行い、就農者の増加を目指します。

遊休農地や耕作放棄地の有効活用を図るとともに、認定農業者・集落営農組織・農業法人等の育成を推進します。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
新規就農者数	30人（5人／年）	1人／年
農業生産法人数	16組	13組
遊休農地面積	35.0ha	38.4ha

<具体的な事業>

- ・遊休農地の解消と活用
- ・新規就農者支援
- ・I J Uターン者の就農支援（半農半X）
- ・農業生産法人の推進

2 がんばる農家のチャレンジ支援

農業の規模拡大や安定生産体制の構築、地域の特色を生かした特産物の開発・育成など、新たな取り組みを支援します。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
地域プラン品目の作付け面積（ブロッコリー、ミニトマト、芝）	550ha	530.6ha

芝の作付け面積増	310.0ha	306.0ha (H26)
経産牛飼育頭数の増	2,250頭	2,100頭
琴浦町における乳量の増	21,000t	19,650t

<具体的な事業>

- ・芝産地の活性化を目的とした生産機械開発事業
- ・畜産クラスター事業・デイリータウン構想の推進
- ・地どれ認定シール作成助成
- ・規模拡大農業者支援

重点目標（２） 地元産業の発展と新たな展開

1 琴浦ブランド化の推進と販路拡大

本町の主要産業である一次産業の基盤を強化し、農業所得の向上に努めます。

また、高品質を誇る牛乳や和牛の安定した生産、「食のるつぼ琴浦」による町産品の発信と首都圏における販路拡大を進めます。

琴浦ブランド化の推進と地域産業の競争力を高め、更なる発展を支援します。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
ことうら商品販路開拓事業	新規契約件数 5件	新規契約件数 1件 (H27)
和牛優良血統牛頭数	10頭	2頭 (H26)
各生産部の販売額の増	2,100,000千円	2,030,116千円
海外への販路開拓事業	新規契約件数 3件	—

<具体的な事業>

- ・牛乳のまちことうら推進事業
- ・ことうら商品販路開拓事業
- ・海外への販路開拓事業
- ・和牛ブランドの確立
- ・農産物の1次加工と6次産業化の推進
- ・町内企業のブランド化事業
- ・インターネット販売の支援

重点目標（3） 魅力あるしごとの創出

1 企業誘致の推進と新たなしごとの創出

企業誘致の推進と、起業・創業を目指す若者の支援など、新たな雇用の場の創出に取り組みます。

森林資源を活用した自然エネルギーや里山資源など、再生可能エネルギーについて、技術進歩を見ながら活用を検討します。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
琴浦町起業支援事業	新規起業件数計 9 件	新規起業件数 1 件 (H27)
町内事業所の従業員数	6,600 人	6,535 人
企業誘致事業	新規誘致企業 1 件	新規誘致企業 0 件 (H27)

<具体的な事業>

- ・雇用促進奨励助成金給付事業
- ・町内企業他業種転換事業
- ・起業支援事業
- ・コトウラエネルギー創造事業
- ・企業誘致推進事業
- ・大学を活用した就職支援

2 しごとを通じた生きがいづくり

障がいのある人や引きこもりの若者、生活困窮者などの就労を支援し、働くことで生きがいや活力の創出を目指します。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
法定雇用率達成企業数	調査中	調査中
一般就労への移行者数	10 名	—

<具体的な事業>

- ・ワーキングコーディネーター設置事業
- ・障がい者雇用推進事業

基本テーマ3 コトウラで輝く

ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり

- 豊かな自然や歴史・文化の息づく琴浦町の魅力を広く発信するとともに、食素材を生かした特色ある観光振興を推進します。
- 鳥取県中部エリアへの誘客を推進する広域観光組織（日本版DMO）を整備し、中部圏域の魅力を生かした周遊性のある取り組み、及びインバウンドへの取り組み等を支援することにより、鳥取県中部圏域への観光誘客を促進します。
- 住民が主体となった地域課題の解決や活性化に向けた取り組みを支援し、新しい自治の仕組みと地域の元気づくりを進めます。

重点目標（1） 豊かな自然と文化を生かした観光振興

1 自然・歴史・文化の継承と地域資源の活用

恵まれた自然環境や歴史、文化など本町の地域資源の活用を推進するとともに、観光資源の魅力を多くの人に知ってもらい、その魅力をさらに高めることで特色ある観光振興を図ります。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
ことうら観光商品開発事業	新規観光商品件数 3件	—
新規観光資源の発掘	5点	—

<具体的な事業>

- ・町の伝統料理発掘事業
- ・ことうらの海と町魚「アゴ」活用事業
- ・地域伝統継承事業
- ・わが町の宝再発見事業

2 観光振興による交流人口の増加

観光資源や豊富な食素材・グルメなど既存観光商品のブラッシュアップを図るとともに、物産館ことうら周辺を整備することで交流人口の増加を図り、賑わいと活力を創出します。新たな魅力発掘と発信、着地型・滞在型の観光ルートづくりを推進します。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
年間観光入込客数	927.8千人（H31）	713.7千人（H26）

<具体的な事業>

- ・特急列車停車促進と観光総合窓口の設置
- ・アーチェリーによるまちづくり事業
- ・物産館ことうら周辺整備事業

3 広域観光の推進

鳥取県中部地域が連携して、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るための広域観光組織「日本版DMO（※）」を整備し、インバウンド受け入れ対応事業並びに旅行業の資格取得・派遣業務を実施するとともに、WTC（※）開催に向けた取り組みを行います。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
鳥取県中部圏域観光入込客数	260 万人	210 万 7 千人（H25）

<具体的な事業>

- ・鳥取中部ふるさと広域連合負担金ほか
- ・ワールドトレイルズカンファレンス事業
- ・名探偵コナンミステリーツアー事業

※日本版DMO（Destination Management/Marketing Organization の略）

地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS 等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティングや戦略策定等を行う観光地域づくりの推進組織。

※WTC（World Trails Conference の略）

世界各国のウォーキング・トレッキング関係者が集う国際会議。Trail（トレイル、舗装されていない道）を資源として保護・活用する世界 23 カ国約 50 団体が集まり、道の保護・保全や健康づくり、観光面への活用などを話し合う。

重点目標（2） 女性が輝き、活力を生むまち

1 ワーク・ライフ・バランスの推進と女性の活躍促進

女性はその能力を発揮し、職場や地域で生き生きと活躍できる社会の実現を目指します。

ワーク・ライフ・バランスや男性の育児参加への理解と意識を促進するとともに、企業と連携して仕事と家庭の両立や地域活動に参加できる職場環境づくりを推進します。

重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (H31)	基準値
男女共同参画推進企業の増	20 企業	14 企業
自治会役員における女性の割合	40%	—
男性の育児休業取得者数	計 30 人	

<具体的な事業>

- ・男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス推進事業
- ・輝く女性の広報PR事業
- ・育児休業取得奨励金事業

重点目標 (3) 協働によるまちづくり

1 まちづくり団体等への支援による地域活性化の推進

住民による地域課題の解決や活性化に向けた主体的な取り組みを支援するとともに、琴浦まちづくりネットワークの運営支援や輝け地域支援事業の業務委託、自治会活動の支援を充実させることにより、地域の活性化団体の結成や活動の発展を促進します。

地域の核となって活動する若手組織の育成や、地域おこし協力隊を活用した地域の元気づくりを進めます。

重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (H31)	基準値
地域おこし協力隊の定住	3 人	—
地域活性化団体の課題解決に向けた取り組み数	20 回/年	
地域振興事業の実施	130 集落 (80%)	

<具体的な事業>

- ・輝くまちづくり団体支援事業
- ・青年組織連絡協議会の設置
- ・地域おこし協力隊活動推進事業
- ・自治会活動の推進
- ・地区からのまちづくり事業

重点目標（４） ふるさとを支えるひとづくり

1 地元リーダー育成の推進

ふるさとを支え、地元を引っ張るリーダーを育成し、地域の活性化を進めます。

また、様々な取り組みを進めるにあたり、各分野・各地域における人材の発掘や育成、活躍を支援します。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
ふるさと創生塾生	60人	—

<具体的な事業>

- ・ふるさと創生塾

2 青少年が主役のまちづくり支援

子ども会活動の充実と中高生の活動の場の創出により、青少年の社会参加意識の向上やまちづくりへの関心を引き出します。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
子ども会の活動人数		—
中高生サークルの設置	1団体	—

<具体的な事業>

- ・青少年輝きプロジェクト
- ・ジュニアリーダー育成
- ・みんなで合宿しよう事業

基本テーマ4 コトウラに根づく

だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり

- 体験ツアーやふるさとの魅力発信により、IJU ターン者の増加を目指します。
- 認知症予防の更なる推進と目標を明確化した健康事業の展開により、健康寿命日本一を目指します。

重点目標（1） 移住・定住希望者の I J U ターン支援

1 コトウラ体験等による移住・定住促進

琴浦町での生活を体験するツアーやお試し住宅の活用、地域の人との交流により住みやすさを実感することで、移住希望者の増加を目指します。

ふるさとの魅力を再確認し、ふるさと愛を育むとともに、町のイメージアップや就職支援のための情報発信を強化し、若者のUターンを促進します。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
移住定住ツアー参加者の移住定住者数	移住定住 10 人 就農体験 5 人	—
人口の社会増減数	△200 人（H27→H31）	△272 人（H22→H26）

<具体的な事業>

- ・ことうら体験事業
- ・移住定住アドバイザー設置事業
- ・コトウラ暮らしお試し滞在住宅事業
- ・成人＋5式
- ・「いいね！ことうら」発見事業
- ・琴浦町イメージアップ PR 事業
- ・琴浦町ふるさとレター便事業
- ・奨学金返還助成事業

2 空き屋の活用や宅地にかかる移住・定住促進

移住・定住希望者の住居の確保を支援するとともに、空き屋の利活用を進めます。

重要業績評価指標（KPI）	目標値（H31）	基準値
空き家登録件数	60 件	30 件（H27）

空き家を活用した移住定住件数	計 25 件	5 件 (H27)
----------------	--------	-----------

<具体的な事業>

- ・ 空き屋の利活用事業
- ・ 定期借地権設置事業
- ・ きらりタウン定住促進事業
- ・ 宅地情報提供事業
- ・ 新築・中古住宅の固定資産税減免措置
- ・ 新婚家庭への家賃助成事業

3 地域の拠点の整備促進

町民が主体となった地域の拠点づくりを推進するとともに、生活に必要なサービス機能の集約や都市部のアクティブシニアの活躍の場づくりについて検討します。

また、統合等による空き校舎、空き園舎などの公共施設の有効活用を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (H31)	基準値
地域協議会の拠点化	5カ所/9カ所	2カ所/9カ所

<具体的な事業>

- ・ コンパクトビレッジ構想
- ・ 地域の拠点整備促進事業
- ・ コトウラCCRC構想の検討

重点目標 (2) 健康長寿日本一を目指すまちづくり

1 健康に生きるまちづくり

認知症予防先進地として、ライフステージに応じた介護予防の更なる取り組みを進めます。

ウォーキングや体操などを取り入れ、健康の数値化により目標を明確化した健康事業を展開し、健康寿命日本一を目指します。

重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (H31)	基準値
健康診断結果の有所見者の減	高血糖 14%減 高血圧 29%減 肥満 14%減	
1日1時間以上歩行・運動実施者の割合増	1日1時間以上歩行・運動実施者：35%	健診問診結果 (H25) 協会けんぽ加入者：24.2% 国保加入者：19.3%

新わくわくことうら体操を毎日する人の増	20%	
高齢者クラブの加入率の増	36% (H27 から 10%増)	26% (H27)
75歳以上の介護認定率の減	23.5% (H27 から 5%減)	28.5% (H27)

<具体的な事業>

- ・健康づくり施設整備事業
- ・健康寿命日本一事業
- ・ライフステージに応じた介護予防事業
- ・ウォーキング推進事業

2 安心・安全で暮らせるまちづくり

中山間地域や高齢化の進んだ地域において安心な暮らしを維持するとともに、地域のニーズに即した多用な交通サービスを展開する取り組みを進めます。

人権意識の向上に向けた取り組みにより、誰もが大切にされ、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (H31)	基準値
自主防災組織結成数	50%	20%
住民生活満足度	5%アップ	

<具体的な事業>

- ・公共交通ネットワークの整備
- ・自主防災組織の強化
- ・中山間地域づくり事業
- ・図書館を活用した情報発信事業
- ・人がやさしい琴浦町事業
- ・人権意識向上事業
- ・琴浦町イメージアップPR事業